

## 消化器外科術後に発症した ARDS のリスク因子の検討

### 1. 研究の対象

2012 年 1 月～2019 年 5 月に当院外科で手術を受けられ、術後 ARDS を発症された方

### 2. 研究目的・方法

#### 【背景と目的】

ARDS とは先行する基礎疾患や外傷に伴い、急性に発症した低酸素血症を呈する疾患であり、ひとたび発症すると治療に難渋し致死率の高い疾患です。今回、消化器外科術後に発症した ARDS のリスク因子について検討します。

#### 【対象と方法】

患者背景、手術関連因子、術後合併症、ARDS の原因、治療等について検討します。

#### 【統計手法】

統計ソフトは JMP10 を使用します。連続変数に関しては Wilcoxon 検定、カテゴリ変数に関してはカイ二乗検定を行います。

#### 【研究実施期間】

2019 年 9 月 2 日～2020 年 4 月

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

熊本県熊本市南区近見 5-3-1 済生会熊本病院

096-351-8000 (病院代表)

研究責任者：外科 小川克大

以上